

備えあれば憂いなし！

南海トラフ巨大地震の発生確率
30年以内に60～90%以上

最新の科学的知見を取り入れても高い確率で発生することが予想されています。

※令和7年9月26日 地震調査委員会発表



非常時の対応を家族等で決めておきましょう

①大災害発生時の連絡方法

大災害発生時は電話やインターネットがつながりにくくなります。

家族間の安否確認等のために「災害用伝言ダイヤル(171)」「災害用伝言板(web171)」などの連絡手段を決めておきましょう。

②避難経路の事前確認

防災マップ等で最寄りの避難場所、経路を確認しておきましょう。

なお、避難場所への移動がかえって命の危険を伴うような場合には、近隣の堅牢な建物等へ緊急避難して安全を確保してください。

③飲料水や食料の備蓄

最低限、3日分は備蓄しておきましょう。目安として飲料・生活用水は大人1日3ℓ。食料は、ある程度保存の効くものを平素から備え、保存期限を見ながら消費、買い増しをしましょう。

④自宅の安全対策

大きな家具、家電が倒れてケガをすることがあります。

金具や突っ張り棒などで固定するなど転倒防止対策を行っておきましょう。自治体による補助制度もあります。

最寄りの避難場所等は自治体ホームページに掲載されていますので、ぜひご確認ください。

[伊予市ホームページ](#)

[松前町ホームページ](#)



伊予警察署 警備課